

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

イノベーションと組織文化

オファー・ミンツ (オーストラリア・シドニー工科大学准教授)

エリック・ナイト (オーストラリア・マッコーリー大学経営大学院教授)

1. オファーミンツ氏とエリック・ナイト氏という2人の経営学者がこのほど、学際的な学問的な背景のもと米シリコンバレーと米シアトルを視察した。そして業界全体を変えるようなイノベーションを生み出すために企業が活用すべき6つの原則をまとめた。それは①リスクへの意欲②脱・現状維持③より良い世界の展望④リーダーの組み合わせ⑤脱・社内政治⑥望ましい世界のイメージ、の6つである。
2. 企業の生命線は顧客であるということを、私たちは何度も耳にした。企業は従業員と顧客との関係を育むことによって繁栄する。その結果、企業が顧客の利益を何よりも優先させる姿勢が生まれる。数多くの学術的研究は、顧客重視の姿勢によって企業がより大きな財務的業績、従業員の生産性、顧客との長期的関係を達成できることを立証してきた。
3. 6つの原則の相互作用が起こることで、革新的な組織文化の基礎ができる。土台は顧客至上主義であり、屋根には明確なビジョンが位置する。天井を支えるのが、リスクへの意欲、現状維持の回避、高揚感のあるミッション、そしてリーダーシップの多様性である。こうした文化を創造することなしに、顧客のニーズを満たす革新的な製品を生み出し続けることはできない。

(参考:「日経ビジネス」2024年2月26日号)

人事・労務について

「終身成長+共創力」(旭化成)

1. 総合化学メーカーの旭化成は、経営の持続可能性を高めるために必要な人的資本経営を実践する先駆企業の一つである。『人』によって成長を続けてきた同社は今、学び方改革にも挑戦している。目指すは「終身成長+共創力」である。旭化成の特徴は、『さん』付け文化に代表されるような風通しのよさで、一匹狼タイプだけでなく、協調型も多いという。
2. 「人は財産、すべては『人』から」。これは、2022年に創業100年を迎え、グローバルで4万人以上の従業員を抱える旭化成の基本思想である。また、22年には中期経営計画における人財戦略「多様な『個』の終身成長+共創力で未来を切り拓く」を発表した。終身成長という言葉には、「一人ひとりが自分らしく挑戦し、成長を目指せるよう、会社としてサポートする」というメッセージである。

(参考:「週刊東洋経済」2024年3月9日号)

ワンポイント経営アドバイス

企業は資本効率や競争力の向上へ努力

木内登英

(野村総合研究所エグゼクティブエコノミスト)

1. 「物価高」「金融緩和」「円安」の三つの要因の間での循環、相乗効果によっていまの株高は成り立っていると考えられる。いまの株高現象は、物価高による名目値の水膨れに、異例の金融緩和が演出した金融相場が複合した様相といえる。しかし、三つの要因は、持続的なものとはいえないだろう。重要なのは、株価上昇が、日本経済や企業の成長力や生活水準の向上をもたらす国際競争力や労働生産性などの「実数値」の改善を背景にしているとは考えられない。
2. 足元の株高と実体経済との間にはギャップがあり、実体経済を改善させることで、両者のギャップを埋める努力をするべきだろう。企業が引き続き資本効率や競争力の向上などに取り組むのは当然だが、働き手もリスクリング(学び直し)などを通して、技能を磨き、労働生産性を上げる努力が必要である。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2024年3月16日号)

古典に学ぶ

利他とは、バランスのとれた「おせっかい」

1. 利他とは、いい換えれば「おせっかい」のことですが、おせっかいても行きすぎると相手の負担になったり、自分自身が疲弊したりするからです。
2. 仏教では、極端に走らず、ちょうどよいバランスを保つ「中道」が大事だと考えます。利他の実践にも、その精神が重要です。中道の心で、自分も無理せず、相手のためになる行動を見極めていきましょう。

(参考:名取芳彦監修「空海 道を照らす言葉」:河出書房新社)